

第5号

「PMFを応援する会」会報

協奏

2012年7月5日

「PMFウエルカム・フラッグ」 “芸術の森 国道”を飾る！！

当会と市民が協力、世界・国内の音楽ファンを歓迎。



PMFの主舞台ともいえる「札幌芸術の森」。境界の緑ゆたかな国道453号。

札幌都心方面から通うPMFアカデミー生が練磨・

練習するこの美しい森、世界的な音楽家とPMFファンがコンサートを創造し、楽しむ、フェスタの森への道のりは1本。

この「The Road to PMF」から恒例のPMFウエルカム・フラッグが消えていました。国際的な教育音楽祭PMFですが、その予算が年々減るといふ厳しい現状によるものです。

そこで「PMFを応援する会」では、私たちファンがこれを座視していいのか？市民みずからお手伝いできないかーと考えた末に「PMFウエルカム・ロード」構想をかため、今年からこのProjectに乗り出しました。

まずはPMF組織委員会からフラッグの貸与の許諾を受け、地元沿線の住民組織などに提携を提案したところ快諾を得ました。この「芸術の森地区」は12年前から国道沿線3キロの「フラワーロード」活動が活発であるのをはじめ、住民みずからの“まちづくり”意識が高いエリア。協議の結果、

沿道の3つのエリアに合計220本の歓迎フラッグを掲出することになりました。

当会がフラッグ用のポールなどを用意すれば、地

域には「PMF支援サークル」が誕生し独自の歓迎旗50枚を制作しました。6月21日、まずはポールに旗の取り付け作業に挑戦、皆さん初体験ながら苦勞して組み立てを完成。次いで23日、町内会・フラワーロード活動などの有志、沿道に旗を運ぶ軽トラックを運転して参加する方、そして遠くは北海道教育大学岩見沢校（アートマネジメント音楽研究室）の学生さんらも駆けつけて、総勢23人が力を合わせて沿道の鉄柵1本1本に旗竿という“歓迎の心”をていねいに紐で結びつけると、1時間あまりでPMFの文字が威勢よく薫風に翻りました。

当会の「世界内外からの音楽ファンにPMFを発信したい」という志と、地元住民の「PMFの里という誇りをか

みしめたい」という熱い気持ちが一体となって握手した自主活動の第一歩でした。

（記：「PMFを応援する会」事務局次長 横山憲治）



《 市民の力で PMF を応援 》

「PMF募金」から組織委員会に70万円を寄付

「PMFを応援する会」は4月26日(木)札幌市役所市長室において(公財)PMF組織委員会(理事長・上田文雄札幌市長)に、PMFを応援して下さる市民から寄せられた「PMF募金」から2011年度分として70万円を寄付致しました。今回で3回目の寄付金贈呈となりました。

贈呈式には当会の竹津宜男会長、須田俊彦事務局長ら4人が出席。寄付金は、竹津会長から「今年もPMFを愛する市民の皆さまから、たくさんの熱い思いと共に貴重な募金を寄せていただきました」というメッセージとともに上田理事長に手渡されました。

上田理事長からは、「毎回、尊いご寄付をありがとうございます」というお礼の言葉とともに当会あての感謝状をいただきました。



2

その後、ご多忙にもかかわらず、上田理事長と懇談の時間を持つことができました。その席上、理事長から「今年も念願だったPMFオーケストラ初の海外公演である中国公演が実現できることが大変楽しみ、今まで海外では、PMFといえばバーンスタインとの関連だけで注目されたが、最近はSAPPOROという街がPMFとともに注目されるようになった。この中国公演ですます世界的にPMFとSAPPOROの知名度がアップされることを期待している」と語った。

当会からは、現在、地域住民の皆さまとの協働事業として実施を検討している、「札幌芸術の森」に通じる国道にPMFのフェスティバル・フラッグを掲げ、世界から参加するアカデミー生や観客を歓迎する「PMFウエルカム・ロード」構想について説明をした。理事長からは「フェスティバルらしい華やかな雰囲気が醸し出されるといいですね」と期待を寄せられ、今後の活動を楽しみにしていると述べられた。

音楽と出会い、音楽を愛する人たちと出会う
「PMF2012 カフェ・サロン」
“ピクニックコンサートであいましょう”
 7月29日(日)札幌芸術の森
 アートホール1Fロビー
 13:00~17:00

コンサートの合間にちょっとコーヒブレーク
 無料
 アカデミー生やPMFアーティストに会えるかも!

PMF支援に70万円
 応援する会 組織委に寄付

上田文雄市長から感謝状を贈る
 ねの募金会会長(右)

7月7日に開する「26日札幌市役所」
 札幌国際教育音楽祭 竹津会長から寄付を交
 迎。PMFを応援する市民から寄せられた「PMF募金」
 から2011年度分として70万円を寄付した。今回で3
 回目の寄付金贈呈となりました。

贈った。
 今年のPMFは8月
 4日まで、日中交正
 常化40周年を記念し、
 中国の北京、瀋陽両市
 で初の海外公演も行
 う。(片岡智江)

札幌市中央区南一西
 4の書店「リアルな
 こと」は内部の改装工
 事のため、28日から5
 月1日まで休業する。

リーアルなむ改装
 あすから休業

◇ 寄付贈呈の新聞記事 ◇

4月28日付北海道新聞朝刊

1) 募金状況のご報告

平成23年4月1日より平成24年3月31日までに皆さまよりお寄せいただきました募金金額と件数は以下の通りです。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	20	3	65	104	24	12	4	65	73	13	4	12	399
金額(円)	51,000	6,000	274,000	331,819	67,658	41,000	11,000	212,000	263,000	44,881	27,000	41,000	1,370,358

当会は市民の皆さまの募金によってPMFの支援を行うことを目的に、毎年活発な募金活動を行ってまいりました。例年のように「募金のお願い」文書等を作成して演奏会などで配布し、それと共に当会の会報「協奏」（6月、12月発行）とともに、一斉DM発送に取り組みました。その結果、募金件数は昨年を下回りましたが、金額において過去3カ年での最高額を達成することができました。皆様のご協力とご理解に深く感謝申し上げます。

2) 定時総会のご報告

平成24年4月23日(月)16時より、札幌エルプラザ2階 環境研修室にて「平成24年度 PMFを応援する会」定時総会が開催されました。平成23年度事業報告、決算報告、監査報告の承認、平成24年度事業計画と募金目標が決定されました。ここに主たる項目を以下のとおりご報告申し上げます。

◇平成23年度(2011年度)事業報告

(2011年4月～2012年3月)

- (1) 定例役員会(14回)……………2011年4月～2012年3月
- (2) 会計監査……………4月20日
- (3) 定時総会……………4月25日
- (4) 2010年度募金(公財)PMF組織委員会へ寄付金贈呈……………5月20日
- (5) 「PMFカフェ・サロン」開催 全4回

- ① 「私たち市民のPMF! その魅力を語り合いましょう!」……………4月15日

参加者: 120名 場所: 札幌パークホテル

司会: 関鎮京(北海道教育大岩見沢校准教授)

登壇者: 前川公美夫・武井文夫・熊谷ユリヤ・大平まゆみ・竹津宜男・向井和恵・須田俊彦

演奏者: 下司貴大(PMFオペラシンガー)、川本伸治・芝木謙子(PMF修了生)

- ② 「動物と文化」と音楽と……………7月14日

参加者: 100名 場所: 札幌パークホテル

対談者: 坂東元(旭山動物園園長)

磯田憲一(北海道文化財団理事長)

司会: 竹津宜男(PMFを応援する会会長)

演奏者: 伊藤光湖(PMF修了生)

- ③ 「ピクニックコンサートで会いましょう」……………7月31日

アカデミー生・PMFアーティスト・募金者・市民との交流の場として。

場所: 札幌芸術の森アートホールロビー 参加者: 約200人

- ④ セミナー「PMFはビジネスツールになりうるか」……………1月29日

場所: 北海道教育大学札幌駅前サテライト

参加者: 27名(4グループに分かれてのワークショップ)+当会から4名

基調講話: 「文化資本としてのPMF」・石森秀三(北大観光学高等研究センター長)

「PMFのこれから」中西浩二(PMF組織委員会常務理事)

「PMF物語」竹津宜男

ファシリテーター: 大島雅志・和島朋広

(3ページより続く)

- (6) 「ニドム・ツアー」……………10月6日
「奇跡の音楽祭・PMF」ゆかりの地を訪ねて
参加者：30名 ゲストスピーカー：小林 敦(元PMFセンター社長)
演奏者：山本真平 (PMFピアニスト)
- (7) 「協奏」3号・4号 発行……………6月21日・11月21日
- (8) HP管理・募金活動

◇平成23年度(2011年度)決算報告

(2011年4月～2012年3月)

- 1、募金収入 399件 1,370,358円 (件数で前年対比-33件、金額で前年対比+190,482円)
- 2、平成23年度の(公財)PMF組織委員会への寄付金額を70万円とすることを決定する。

「PMFを応援する会」平成24年度(2012年度)活動計画

(2012年4月～2013年3月)

◇事業計画

- ① 「PMFカフェ・サロン」全4回開催
- ア、市民対象
- ① PMF会期直前(6月)「トークセッション」(“PMF2012 ここが聴きどころ”)
 - ② PMF会期最終日(7月)「ピクニックコンサートで会いましょう」
市民とアーティスト・アカデミー生との出会いの場として
 - ③ PMF会期終了後(9月)「ニドム・ツアー」
- イ、企業分野対象(11月)「インセンティブ・セミナー」
2011年度開催の「第4回カフェ・サロン」の内容を引き継ぐものとして
- ② 寄付金贈呈の新しい企画
寄付金の使途を募金者にいっそう見える方法の検討と実行
- ア、常盤・石山東地区との協働事業(寄付金の使用用途を含む企画)
- イ、PMF組織委員会・北海道開発局・芸術の森地区連合会(旧町内会連合会・まちづくり推進会議)などとの
共同地域応援事業
- ③ 次世代へPMFを繋ぐ目的の事業
- ア、幼児・小学生年代のコンサートへの動員企画
(チケット販促によるPMF応援事業として)
- イ、大学生年代の取り込み (カフェ・サロンとのリンクを考える)
(関係学部生対象のセミナーなど)
- ④ 募金活動の活性化
フェロシップの充実のための対策検討と実行
募金者の動向実態調査 募金チラシ刷り増し
- ⑤ 会報「協奏」発行 2回
- ⑥ その他 名義後援・共催事業を探る

◇平成24年度募金目標について

今年度の募金目標額を150万円とする。

♪ Scramble Shot 「PMFを応援する会」ホームページから

当会は、PMFを愛する市民の皆さまとPMFとのつながりを一層強く、広くするために、年間を通してさまざまな活動を展開しております。その一つとして「PMFカフェ・サロン」の開催があります。これはPMFに関する各種セミナーやPMFをより一層楽しんでいただくための催しなどです。その都度、ホームページでご案内・申し込みの受付をしております。どうぞ今後も当会のホームページにご注目下さい。ホームページは「PMFを応援する会」で検索して下さい。



PMF2012 第1回カフェ・サロンにつどう



PMF2012の第1回カフェ・サロンが6月19日賑やかに開催されました。

台風北上のニュースを心配しながらの開催でしたが、会場となった札幌パークホテル「光華の間」のガラス越しに見える庭は緑鮮やかで、羽化したばかりの蝶々が舞い、PMFの開幕を間近にひかえた初夏に相応しい風情でした。

先ず基調講演はお忙しい中、授業を終えた直後に駆けつけてくださった北大大学院芸術学講座教授北村清彦先生の「芸術とまちづくり」。

芸術文化再考の必要性を説く内容で、芸術の本来の意味は「人間が生き抜くためにある」、芸術あるところには人が集まり、資金が集まるとのお話。創造都市札幌にまで話が及び、我々の会の役割を改めて考えさせられる内容でした。

「PMF2012・ここが聴きどころ」は、PMF組織委員会の芝木謙子さんが今年の演奏曲目やアーティストについて、CDをかけながら、その魅力を話して下さいました。お話を聞くうちに、どのコンサートに行こうかと、開幕が待ち遠しくなった方もいらしたのではないのでしょうか。

ご参加いただいた皆様が心待ちにしていたミニ・コンサートは、PMF2010参加のバリトン歌手の下司貴大さんと2011・2012PMFピアニストの山本真平さんによる演奏でした。イタリア・カンツォーネ「オーソレミオ」に始まりモーツァルト、ヴェルディ、プッチーニ、ビゼーのオペラ曲に加えて、アンコールには、昨年も好評だった「フニクリ・フニクラ」を歌ってくださり、満場の拍手を浴びていらっしゃいました。これからも、若いアーティストの活躍にエールを送り、応援する役割を担うことができればと思います。

カフェ・サロンに相応しく、ちょっとおしゃれな気分で集まって下さった参加者の皆様は、ホテル特製のアップルパイを味わいながら、午後のひと時を楽しく過ごしていただきました。



2年目を迎えるカフェ・サロンは、毎回関心を持ってご参加くださる皆様の力を糧に、多くの新しい仲間を募って、今年もいろいろな視点からPMFを応援する企画をたて、実行しようと考えています。

(記「PMFを応援する会」事務局次長 三坂桂子)



<お知らせ> このカフェ・サロンの様子は「PMFを応援する会」のホームページに写真を多数掲載して紹介しておりますので、この本文とあわせてご覧ください。

支援活動ネットをパワーアップ!!

「PMFを応援する会フェロー」にご応募を!

当会では、昨年「フェロー」制度を発足させ、市民ボランティア活動の広がりを目指すと同時に、将来はフェローが全国へのネットワークにまで成長することを願っております。

今年の年次総会では「フェロー」を更にしっかり位置づけようと「会則」を改正し、「フェロー細則」を決定しました。(全文は当会のホームページをご覧ください)

「フェロー」は当会事務局と常に強く連携して「広報」「イベント参加」「募金」活動などに取り組んでいただくことが大きく期待されますが、総会・役員会にもオブザーバー参加ができ、豊かな発想や意見が反映されます。既にフェローで、札幌から離れている方からは早速「住んでいる地元で活動を進めたい」「音楽祭ボランティアをしているが、周囲にPMFプログラムの配付や募金活動にも取り組みたい」との声が寄せられています。「フェロー」に登録されるには当会役員からの推薦が必要ですが、事務局にどしどしお問い合わせでご応募ください!!

✦ 募金者の皆さまへ — 「PMFを応援する会」は下記のように活動します。 ✦

1. 当会は、PMFを世界に誇る札幌の文化芸術資産として継続・発展させるため、個人による募金を呼びかけて市民によるPMF支援を行います。
2. ご協力いただきました「PMF募金」は、基本的には事業推進のために必要な経費を除いた全額を公益財団法人PMF組織委員会に寄贈致します。
3. PMF募金の募金状況とPMF組織委員会への寄贈額につきましてはホームページやその他の方法をもって定期的にご報告致します。
4. 公益財団法人PMF組織委員会と連携しながら、PMFを理解・支援していただくために、寄付者をはじめ広く市民の皆さまとの交流事業を開催します。
5. 当会の活動状況はホームページ及び会報「協奏」などでお知らせいたします。

皆さまのご支援に心から感謝申し上げます!!!

《募金者名》2011年4月1日～2012年3月31日 敬称略 五十音順

青木 通子	伊藤 光湖	奥村 紀子	高垣 良子	澤井 美津子	大 公一郎	富田 美紀子	平田 征子	増田 雅子	山崎 アヤ子
赤石 尚一	伊藤 龍子	奥村 道子	国際プラザ	澤口 恵子	加藤 欽也	戸谷 真智子	廣瀬 キミ子	増田 美千子	山崎 均
赤石 知恵子	伊藤 匡哉	小田 浩之	後藤 淳子	澤田 文子	高垣 良平	永井 征男	廣瀬 義勝	松井 彰子	湯原 光子
赤坂 博	稲葉 厚志	小田 美保子	後藤 道	塩澤 正樹	高橋 研一	中野 清恵	広田 一郎	松尾 宏	横路 孝弘
上松 瑛	井上 睦子	小野 サダ子	小林 敦	繁富 恭子	高橋 徹	永宮 八重	広田 聡	松川 早苗	松川 恵治
阿部 和男	猪熊 セツ子	小野 美代子	小林 郁子	篠田 洋	高橋 久恵	中村 孝行	広田 美香子	松川 博	横山 圭子
阿部 久美	今井 葉子	小野 洋子	小林 紀子	司馬 政一	高島 禮子	中村 千賀子	広田 美貴子	松田 悦子	横山 真
安部 桂子	岩崎 漢子	表山 千春	小松 宏	柴田 千賀子	高橋 美規子	中村 敏江	廣田 泰廣	松田 規子	吉田 哲恵
阿部 裕昭	上西 美恵子	垣田 恒子	近藤 千鶴子	近藤 千鶴子	高橋 米	中村 浩	福田 剛	松田 陸雄	吉田 陽子
阿部 和加子	氏家 公子	加藤 静江	紺野 恵美子	渋谷 優佳	滝沢 慶彦	中村 まり絵	福田 実輝子	松田 規子	吉屋 美苗
阿部 和男	氏家 武	金丸 梅美	西條 雅穂子	島内 猛彦	田熊 悦子	那須野 美智代	藤井 正一	松平 英明	米谷 弘文
雨貝 尚子	氏家 なを	金谷 真木子	才田 雅美	清水 貴子	竹田 芳昭	名取 章	伏木 忠了	松宮 俊子	若月 公子
天野 晶吉	内柴 香緒理	金山 哲夫	斎藤 愛子	菅波 康郎	竹津 正士	鍋田 多美子	藤田 悦子	丸山 晃市・清子	若月 富男
荒井 智佳子	鶴野 勝教	(株)ニドム	斎藤 克幸	杉中 佐智子	竹津 宜男	波 瑠美子	藤田 澄江	三上 まさ子	綿石 弘
荒谷 留理子	栄花 真理	且股 典子	斎藤 直子	杉中 隆三	竹津 香苗	成田 幸子	藤田 美音子	三木 蘭	渡辺 尚代
安藤 佳枝	丸谷 千代子	上出 邦子	斎藤 真理	杉本 敬	竹部 玉枝	嶋海 美奈子	藤戸 律子	水子 務	匿名
井内 祐	及川 節子	河内 和子	齋藤 美登里	杉本 猛	竹本 陽子	西崎 裕子	藤森 重矢子	水子 陽一	
井浦 功雄	及川 貴夫	河島 瑛子	齋藤 淑子	杉本 智子	田中 薫	西崎 孝	藤原 悦子	水沼 多江子	カフェ・ディ・レニー募金箱
猪狩 美津子	及川 由美子	川端 習太郎	齋藤 詔子	鈴木 喬	田中 桂子	西田 雅子	藤原 俊彦	三田 雅子	ピクニック時募金
池田 静子	大城 戸 瑞子	河部 宣子	斎藤 公美雄	鈴木 泉一	田中 笙子	西野 洋子	古川 善雄	南 純子	
池田 純子	大久保 玲子	川本 悦子	斎藤 美年子	鈴木 のり子	田中 誠	根本 常子	古田 良三	宮本 宏	
石井 眞弓	大澤 久子	神林 一恵	榊原 郁雄	鈴木 久恵	田中 義具	根本 典子	宝諸 翠	関 鎮京	
石井 恵	大島 桂子	菊地 まみこ	榊原 英俊	鈴木 眞弓	田辺 渡留	野上 浩司	星川 良子	向井 和恵	
石井 安子	太田 駿祐	北野 みどり	坂原 康平	坂原 康平	谷内 茂	野上 まさ子	細川 亜希子	目加田 愷	
石岡 奈緒美	大谷 慎一・蓉子	北山 美美子	坂野 康子	坂野 康子	谷口 哲雄	間 力	細川 敏恵	茂木 晴子	
石田 安貴良	大西 久恵	城戸 美喜子	坂本 慶子	坂本 慶子	丹野 美佐江	橋本 信夫	細越 俊介	森下 裕一	
石田 時也	大野 紀子	桐山 準子	佐々木 勇美	鈴木 亮介	千田 昭子	橋本 邦江	本田 晶子	八木 幸三	
石塚 史恵	大場 豊彦	桐山 真理子	笹田 政彦	須田 和子	田中 宏三	長谷川 ひろ子	本間 せつ子	山際 豊重	
石塚 米子	大平 幸ゆみ	久住 孝之	佐藤 亜子	須田 真彰	辻村 竹美	長谷川 右	本間 ひとみ	山口 豊二	
石橋 喜重子	大間知 亜紀	倉岡 修子	佐藤 郁夫	須田 俊彦	土田 明美	畑 智子	本間 二三子	山口 豊二	
石森 秀三	大矢 和史	栗林 千矢人	佐藤 恵理子	須田 恵	寺田 百合子	花井 美恵子	本間 雅代	山崎 アヤ子	
磯田 憲和	大和田 勝弘	栗林 廉子	佐藤 修子	鷺見 武	天日 彰子	早川 治男	前田 清子	山下 喜美子	
一色 晴子	岡崎 喜美	栗林 由佳	佐藤 信行	鷺見 陽子	天日 一光	早崎 悦子	前田 奈々	山田 政光	
伊藤 一雄	萩野 弘子	栗原 文千代	佐藤 はるみ	諏訪 桂子	徳永 純子	原 祐子	前田 和美	山谷 敏子	
伊藤 敬子	萩谷 忠男・恭子	小池 明夫	佐藤 博明	須田 明子	徳永 隆史	原田 尚子	益子 良昭	山中 孝光	
伊藤 照子	奥村 昇	小泉 由美子	佐藤 佳子	関 啓子	徳永 洋	樋口 淑子	益田 遙	山中 三知	
				関口 明				山本 真平	

(お名前のお読み方が間違っていましたらお許しください)

発行 PMFを応援する会

〒005-0854

札幌市南区常磐4条2丁目17-13

「カフェ・ディ・レニー」内

FAX: 011-827-5181

お問い合わせ

080-6064-7811 (夜6時以降)

<http://pmf-support.main.jp/>

印刷協力 株式会社マルシン

編集後記

昨年のピクニックコンサートで、私の同僚(女性)が出演者に一生懸命声援を送っていた。本人は黄色い声で声援を送っているつもりなのだが、私にはどうも目にもみてもその声は“こげ茶色”であった。もう無理なのである。本人は気づいていないが、女子高生のような真正な“黄色い声”はとうの昔に失われているのだ。ふと考える。私は何と友情に厚い人間なのだろう。そのことを気づかぬ振りをする優しさを持っている。でもなあ、やっぱり今年こそそばにいるのはやめよう。とにもかくにも“黄色い声”の持ち主も“こげ茶色の声”の人も今年も梅雨のない爽やかな北海道の夏とPMFをどうぞ存分に楽しんで下さい。(ち)